

富山県聴覚障害者 センターだより

- 協会とセンターのホームページ
<http://www.tomichokyo.or.jp>
- 手話通訳・要約筆記・ライブラリ・センター利用の「手引き」を配布しています。

初めての要約筆記者付きの美術館見学



西田勤さん主宰の難聴者のつどい「ひつだんサロン虹」は5月11日、県水墨美術館で開催されている『ザ・屏風展』を要約筆記者の派遣のもとに見学されました。その報告を頂きましたので以下、掲載します。

難聴者3名、サポーター2名の5名に対して、要約筆記者4名で情報保障がなされる素晴らしさを体験してきました。作家や作品の解説だけではなく「屏風」の成り立ち、生活の中でどのように使われてきたのか、何故その題材が選ばれたのか、季節などの背景も知る事が

できて、とても有意義な時間を過ごす事が出来ました。参加者も「とても分かり易く勉強になった」と感想を言っておられました。これらも要約筆記をしてくれた筆記者さん達の適切で訓練された要約技術があって初めて実現したのだと実感しました。今回、会場で要約筆記の現場を生でご覧になられた一般鑑賞者の方にとっては、聴覚障害者が決して手話を使える訳ではない現実と、主に文字によって情報・コミュニケーションを図っている人たちがいると知って頂けたのではないかと思います。美術館内での要約筆記活動の実際を研究したいと「富山市立美術館」の学芸員が視察に来て立ち会われました。

なお、6月の「ひつだんサロン 虹」の活動は都合によりお休みします。

貸出しています。共同募金助成事業により 「DVDろう者の手話語り」できました。

平成25年度共同募金助成事業として制作した「DVDろう者の手話語り」が完成し貸出OKです。戸田博茂さん・はつ栄さん夫婦、江尻京子さん、岩城理勇さん、竹川秀夫さんに協力して頂き、それぞれ25分くらい、生い立ちを手話語りして頂いています。若いう者にぜひ見て欲しいですね。また手話通訳者や手話を学ぶ人の学習にもぴったりです。それぞれのろう者のろう学校生活、仕事、家庭生活などが、生きた手話と一緒に味わい深く学べます。ろう者も健聴者もご利用下さい。



センター利用の実績

4月21日～5月20日

- 来所者 合計約561名
聴障者約248名、健聴者約313名
- コミュニケーション支援コーディネート59件
- ライブラリー貸出 5件15本
- 相談対応18件 ●部屋貸出50件

★センター運営募金をお寄せ下さい★

郵便振替口座；

00790 - 0 - 93002

名称；富山県聴覚障害者

センターを支える会